

太田 洋の

英 語
IN 大阪
ワークショップ

2020.1.13 (Mon)
12:00-16:00

定員

100名

先着順

締め切りは1月6日!

新指導要領になる前にみんなで考えておきたい!

授業づくり × WORKBOOK

講師: 太田 洋先生 (東京家政大学教授)

受付: 11:30~ 参加費: 1,000円 (当日、会場受付にて申し受けます)

会
場

AP大阪梅田東 日本生命ビル 5F

【Access】 [JR] 大阪駅 御堂筋南口 徒歩9分

[地下鉄谷町線] 東梅田駅 北東改札 / 北西改札 徒歩4分

【Address】 〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル5F

【Web】 <https://www.tc-forum.co.jp/kansai-area/ap-umedahigashi/>

※『AP大阪駅前』『AP大阪梅田茶屋町』とお間違えないようご注意ください。

※専用の駐車場はございません。車でお越しの際には近隣の駐車場をご利用ください。



▲ AP大阪梅田東 日本生命ビル

お申し込みについては裏面をご覧ください



Let's Think About These Issues

全国の先生方からいただいているお悩み (抜粋)

2019. 10. 01. 現在

- ① 英語の全国学力調査が行われるようになりました。入試も今後4技能が測られるものによって変わっていくと思われ
ます。そのような中で、すべての技能をどのようにバランスよく指導していけばよいのでしょうか。
- ② スピーキングの評価方法について詳しく伺いたいです。また、スピーキングの指導について、生徒がアクテ
ィブに活動できるような具体的な指導方法が知りたいです。
- ③ 生徒たち自身が教科書に出てくる表現を使ってスピーキングやライティングができるようにするためには、
どのような指導を行ったらよいのでしょうか。
- ④ 2021年度以降、授業はすべて英語で行うようにとのことですが、文法説明などは日本語で行わなければ生徒
は理解できません。授業は必ず「オールイングリッシュ」を進めなければいけないのでしょうか。もしある
程度日本語の使用を認められる場合、どの程度まで使用してよいのでしょうか。
- ⑤ 新学習指導要領の新しい3つの観点での具体的な評価方法について知りたいです。
- ⑥ 教科書準拠のドリル的なワークブックが多い一方で、useを促すものはすごく少ないように感じます。絵が
連続する場面の移り変わりを表していて、その状況を書いたり、現実の言葉を使用する場面が設定されて
る中で、必要なことを表現したりするものがこれからどんどん増えていけばいいなと思っています。
- ⑦ 定期考査の前にワークブックの課題を、試験範囲の対策として出していますが、ただやるだけで理解まで
できていない生徒が多く、悩んでいます。効果的なワークブックの活用方法を教えていただきたいです。
- ⑧ 去年の夏、教育実習に行き、今の都市部の生徒たちの多くが塾に通っているという現実を見ました。その中で、
現場の先生方はなるべく負担を減らそうと授業中の宿題を出さないようにしていました。このような現実の
中で、どのようにワークブック等を授業の内外で活用すればいいとお考えでしょうか？それとは反対に、田
舎の方では経済的に塾に通わせることのできない家庭もあります。ですが、同じ授業の中で出す宿題は生徒
全員同じです。そのような生徒たちにはどのような配慮が必要でしょうか？
- ⑨ 3年生入試対策として、Warming Upで使用する長文読解ドリルの、スローラーナーにも対応する有効的な
活用方法が知りたいです。



Let's See The Comments

昨年ご参加くださった先生方のご感想

💡 他の先生方と、意見や活動例を共有することができ、新年度から実践したいアイデアを得ることができました。生徒1人ではできないことを、授業内で学び合って答えられるようにするための活動例が見つかったことはありがたかったです。

💡 新しいものを取り入れていくことも大切ですが、今あるものを使ったおすという視点でも、まだまだ自分の授業を改善していくことができると今回のワークショップで気づかされました。

💡 授業内の活動だけでなく、帯活動でも活用できそうなアイデアがたくさんわきました。新学期の授業から試していきたいと思います。

💡 自分の授業の振り返りになりました。他の先生方が、授業中にどういった活動をしていらっしゃるのかわれたり、自分が今後どのような活動をしていけばよいのかを考えたりするよい機会になりました。

💡 ワークやドリルは文法確認としての使用が主でした。今回のワークショップで、授業中の表現活動につながる利用法があるということがわかり、その具体的な活用法についても知ることができたので、明日からの授業で早速実践したいと思います。

💡 ワークを宿題以外にどう扱えばよいのかを考える機会になりました。教科書と副教材を授業中にバランスよく使うにはどうすればよいかを先生方と考えることができ、いろいろなアイデアを得ることができました。

会場周辺地図



お申し込み方法

①か②のいずれかの方法でお申し込みください

- ① 右のQRコードまたは下記のアドレスよりアクセスのうえ、専用フォームにてお申し込みください。

https://www.seishinsha.co.jp/links/e/workshop2020_o.php
※ パケット通信料はお申し込み者様のご負担となります。



- ② 下記の参加申込書 (FAX用) にご記入のうえ、FAXにて弊社宛てにお送りください。



E-mailまたはFAXにて、弊社より**参加票**をお送りします。
ワークショップ当日、会場受付にて受付番号をお伝えください。



締め切り： **2020年1月6日(月)**

※ ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ： **TEL 03-5229-7651**
担当：北口 (正進社 営業部)

参加申込書 (FAX用)

FAX 番号： **03-5229-7650**

ふりがな

お名前

勤務校

ご連絡先

E-mail

アドレス：

参加票の
送付先

FAX

FAX 番号：

ワークブックに関するお悩み

お書きいただいた内容は、事前に太田先生にお伝えいたします。

「ワークブックのこの部分ってどう活用したらいいの?」「こんなワークブックがほしい!」などのお悩みを、この機会にぜひお寄せください。